貪福島スポット情報 ⋘ 連合福島

767 号 2025年11月4日 発行 福島市仲間町 4-8 連合福島 組織広報局

自合福島第 39 回定期大会開かれる

安心社会へ 果敢にアクシ

~広げよう「理解。共感。参加」の輪~

連合福島第39回定期大会は、10月30日福島市のホテル福島グリーンパレスに おいて、役員・代議員など約200名が出席し開催された。

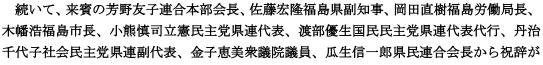
冒頭、澤田精一連合福島会長は『2025 春闘では、平均賃金引上げ額1万 4076 円、率 4.94%と 34 年ぶりの高水準を実現し、賃上げが当たり前の社会への定着 に向け、大きな一歩を踏み出した。物価高や国際情勢の不透明さが続く中、実質 賃金の継続的な上昇と安定した経済成長を実現するためにも、2026 春闘では 5% 以上の賃上げをめざし、中小企業への支援や価格転嫁の適正化を強く求めていく。



来賓挨拶 連合本部 芳野友子会長

政治闘争では、推薦候補の自治体選挙全勝という成果 を得た一方、参議院選挙では厳しい結果となったこと を真摯に受け止め、反自民・非共産の勢力拡大を軸に、 働く者の声が届く政治の実現をめざしていく。また、 今後2年間は組織の強化・拡大を最重要課題と位置づ け、同じ職場で働く仲間の組織化を進めるとともに、 ジェンダー平等と多様性の推進、次世代育成、持続可

能な運動体制の確立に向けて、全力で取り組んでいく』と挨拶した。



述べられた。一般活動報告には、私鉄総連・菅 野代議員から意見・要望があり、執行部の見解

を以て会計決算報告と併せ賛成多数で承認された。

第1号議案『2026~2027年度運動方針(案)』には、自治労・鈴木代議 員、電機連合・今田代議員及びJAM・深谷代議員から意見・要望があり、 執行部の見解を以て賛成多数で決定された。第2号議案『2025年度剰余金



澤田会長のガンバロー三唱

処分(案)及び2026年 度各種会計予算(案)、 2026 年度連合福島会 計監査人の選任につ いて(案)』も賛成多数



挨拶する澤田精一会長

会場代議員の様子

で決定された。第3号議案『連合福島「規約・規則・規程」の一部 改訂について (案)』については、構成組織毎の代表代議員による 一票投票を行い、賛成多数で決定された。第4号議案『役員の選出 について(案)』では、2026~2027年度の新役員体制が確認された。

最後に『すべての働く者のための労働運動を県内全域で力強く展 開し、地域社会から共感・信頼される連合福島運動の実現に向け力 をあわせ邁進していこう』とした大会宣言が採択された後、澤田会 長のガンバロー三唱をもって第39回定期大会を閉会した。